

2023年度 JASO・JASOテクニカルペーパー(TP)・JIS作業計画

JASO制定6件、改正6件、 JASO TP制定1件、改正1件、 JIS改正2件 計：16件

作業内容	規格番号	規格名称	目的
JASO 制定 (6件)	新規	自動車用電子部品の通過・反射特性試験法	電子部品のインピーダンスおよびSパラメータを性能等価の指標とし、自動車用部品、自動車の性能予測ならびに性能評価試験の代替となる測定方法と判断基準について新規にJASOを制定する。
	新規	自動車用ブレーキディスク品質特性 －第1部：組織_機械特性	自動車用鋳鉄製ブレーキディスクの材料特性を測定する試験方法として、新規にJASOを制定する。 また、今後JASO規格の検討結果をIS（国際規格）に提案していく。
	新規	市場の使われ方を模擬したブレーキすり合わせ台上試験方法	常用ブレーキについて市場の使われ方の実態に合わせた低負荷制動での効きの上がり方、ブレーキ単品の効きの横並び把握、システム設計へのF/B、実車性能のシミュレート、および不具合モードの検出等への活用を目的に、新規にJASOを制定する。
	新規	自動車－実走行状態の再現を目的とするシャシダイナモメータ試験システムの性能要件とその評価法 －第2部：ローラ上のタイヤスリップとその対策を考慮した登坂・降坂並びに急加減速条件を再現する4WDシャシダイナモメータの性能要件とその評価方法（仮称）	昨年度制定したJASO E018-1の第2部として、特に電動車両の評価で影響が大きいとみられる登坂・降坂走行条件の台上再現方法や、急加減速、登坂・降坂条件の台上再現においてローラ上で発生しやすいタイヤスリップの影響評価とスリップ対策などについて、新規にJASOを制定する。 [関連規格] ・ JASO E 018-1（自動車－実走行状態の再現を目的とするシャシダイナモメータ試験システムの性能要件とその評価法－第1部：急激な加減速条件を再現するための4WDシャシダイナモメータの性能要件とその評価方法）
	新規	自動車用エアコンディショナーテストベンチにおけるシステムCOP測定方法	2030年度施行予定の日本オフサイクルクレジット制度策定に向け、高効率エアコンクレジット値算出法議論を自工会にて推進している。算出式内の固定値であるベースラインCOPの測定試験を来年度に実施予定のため、日本向けエアコンシステムCOP評価試験法について、新規にJASOを制定する。
	新規	二輪自動車－手放し直進性試験方法	近年、二輪車の運動特性に関する規則が各国で検討されるようになってきているが、その試験条件や評価基準を適切なものとし、世界の二輪産業をリードする我が国として予め種々の試験法を整備しておく必要があることから、新規にJASOを制定する。 [関連規格] ・ JASO T 011（二輪自動車-定常円旋回試験方法） ・ JASO T 012（二輪自動車－操だ過渡応答試験方法） ・ JASO T 013（二輪自動車-レーンチェンジ試験方法） ・ JASO T 014（二輪自動車－スラローム試験方法）

2023年度 JASO・JASOテクニカルペーパー(TP)・JIS作業計画

作業内容	規格番号	規格名称	目的
JASO 改正 (6件)	D 605	自動車用コネクタ	平型のコネクタ式の圧着端子のタブサイズ「2.3」、 「4.8」、「9.5」の協議が完了したことから、これらのタブ サイズを追加するため、本JASOを改正する。
	D 017	自動車部品－高電圧リレーの試験方法	本JASOで引用している高電圧部品耐環境試験法の国際規格 (ISO 16750シリーズ)の改正版(第4版)が、2023年に発行 される見込みであることから、その内容を取り込みことを目 的に本JASOを改正する。
	T 803	二輪自動車の操縦性及び安定性用語	今後のデジタル数式化・コンピューターモデリング・シミュ レーションの実現に必要な「定義、座標、単位、図の統一的 定義と表現」「各規格整合」「解説の充実」を図るため、本 JASOを改正する。
	F 109	自動車部品－座金組込みボルト及び小 ねじ	引用規格の最新化、関連規格との整合化を図ることにより、 関連規格、類似規格との互換性を確保し、規格活用や部品共 用化の促進を図ることを目的に本JASOを改正する。
	M 364	自動車用ガソリン機関潤滑油	日本自動車工業会から提案された新たな省燃費規格(フラット 粘度オイル規格)を新たな種類として追加するため、本JASOを 改正する。
	M 609	自動車用材料腐食試験方法	本JASOに規定される試験法と自動車各社が保有する試験法の 相関性が低い場合があったことから、腐食防食学会/自動車 腐食分科会のWGとして市場相関性を高め、開発の2度手間を解 消するため、本JASOを改正する。
TP 発行 (1件)	新規	半導体素子の部品認定プロセスのガイ ドライン	21年度発行のJASO TP 22001にて、半導体の品切替(製品/工程 変更)の指針を示した。 さらに、昨今の自動車業界として大きな課題である部品供給 確保に対するPPAP(部品認定プロセス)のガイドラインをJASO テクニカルペーパーとして発行する。
TP 改正 (1件)	TP 02001	新SAE Hポイントマシンの紹介	本JASO TPは、ISOおよびSAEの内容の解説である。 2003年以降、関連規格であるISO 20176およびSAE J4002が改 正されているため、改正内容やその狙いについて追記するた め、本TPを改正する。 [関連規格] ・ISO 20176 (Road vehicles - H-point machine (HPM-II) - Specifications and procedure for H-point determination) ・SAE J4002 (H-Point Machine (HPM-II) Specifications and Procedure for H-Point Determination - Auditing Vehicle Seats)
JIS 改正 (2件)	D 0116-5	ディーゼル機関－燃料噴射装置の用語 －第5部：コモンレール燃料噴射シス テム	対応する国際規格ISO 7876-5に新しい用語が定義されたこと から、それらをJISに反映するため、本JISを改正する。 [関連規格] ISO 7876-5: Fuel injection equipment - Vocabulary - Part 5: Common rail fuel injection system
	D 8301	自動車及びタイヤの車外騒音測定のため の試験用路面	対応する国際規格ISO 10844が改正されたためISOとの整合化 を図るとともに国連法規UNR-41、51、117、138等の認証結果 の安定に寄与するために本JISを改正する。 [関連規格] ISO 10844 (Acoustics - Specification of test tracks for measuring noise emitted by road vehicles and their tyres)